

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		防犯灯設置等助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連									
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名 後藤一男									
	施策	2	防犯対策の推進		所属課	総務課	担当者名 長島正和									
	基本事業	4	防犯に関する環境の整備		所属班	交通防災班	(内線) 220									
					法令根拠 防犯灯設置等補助金交付要綱											
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	4	事業連番	10026	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	1	コスト削減優先度評価結果	7
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)															
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)																
【事業の内容】 市民の安全を守り、住みよい街をつくるため、各区区内における防犯灯設置や防犯灯維持管理に対する補助金を交付する事業である。																
【業務の流れ】 補助金交付申請受付、現場確認、交付決定、検査、検査報告、交付確定、支払																
【主な予算費目】負担金補助及び交付金																

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 維持管理補助金 3,742灯, 防犯灯設置補助金 72 件を支出した	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 自治会	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 区内維持管理補助金申請件数 件 イ 区内設置補助金申請件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 防犯等の設置や維持管理についての経費負担を軽減する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 自治会数 箇所 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 被害にあわない住環境にする	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 補助金交付を行った自治会数 箇所 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 防犯設備(防犯カメラ)の設置箇所数/設置が必要な箇所数(小中学校数) % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  目 標 合 計 値 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	6,985	7,550	7,360	7,348	7,615	7,865		8,115
		(A) 事業費計	千円	6,985	7,550	7,360	7,348	7,615	7,865		8,115
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		トータルコスト(A)+(B)	千円	6,985	8,306	8,116	8,184	8,451	8,701		8,951
活動指標	ア 件 イ 件		3,620 68	3,672 80	3,700 80	3,742 72	3,800 75	3,850 75	3,900 75		
対象指標	ア 箇所 イ		81	81	81	81	81	81	81		
成果指標	ア 箇所 イ		71	79	80	80	81	81	81		
上位成果指標	ア % イ		40	90	60		70	80			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
市民の安全確保に努めるのは市の責務でもあることから、自治会で設置している防犯灯に対し補助金を交付するようになった
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
防犯灯の整備が進むことにより、犯罪の防止にはつながっている。しかし、合併当初から、旧両町の制度を導入(新設補助金、維持管理費補助金)し運営しているため、毎年補助金の支出が増え続けている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
・財政部局からは、集中改革プランの補助金削減が実施されていない事業である、との指摘を受けている。  
・議会の総務委員会からは、防犯灯の補助金については、市で負担してほしい、との要望があった。

事務事業名	防犯灯設置等助成事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ <b>自治会の経費を負担軽減をすることで、自治会での被害にあわない住環境の整備がしやすくなり、繋がる。</b>
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ <b>要綱の中で、市民の安全を守り、住みよい街をつくるため、区が設置する防犯灯の経費の一部を補助する、と規定しており、妥当である。</b>
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ <b>対象も意図も適切である</b>
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ <b>防犯灯の整備を地域で行っており、それに対し設置補助金並びに維持管理補助金を交付しているが、対象地区全部から申請が上がってきていないので、向上の余地がある。</b>
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ <b>自治会の負担が大きくなる。また、防犯灯が少なくなると、市民の不安を増長させることになる。</b>
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <b>防犯灯について補助を行っているのは、本事業のみである。</b> <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>旧合志町では維持管理補助金の交付、旧西合志町では設置補助金の交付を実施しており、合併で両事業を採用した。これにより市の負担が増大になっており、補助金交付制度の見直しを行うことで削減余地はある</b>
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>補助金交付要綱に基づく事務であり、削減の余地はない。</b>
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ <b>全自治区を対象にしており公平である</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性については、区長に周知を図ることで、成果向上の余地がある。 効率性については、補助金交付要綱の見直しが必要となる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 財政部局と議会の総務委員会の間で、意見の相違が在り、調整が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	8	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )